

# エコパートナーシップうじたわら

茶文化の源  
水・緑・生命の環を育む和みのまら

発行日  
平成17年(2005年)7月14日  
(第5号)

編集・発行  
エコパートナーシップうじたわら  
広報部会

事務局 TEL(88)6635  
FAX(88)3231

## 『第1回 自然環境体験ハイキング』開催

自然・生活環境部会(部会長=岩瀬剛二委員)が、平成17年5月22日(日)に「第1回 自然環境体験ハイキング」を高尾地区で開催しました。

これは、「住民のみなさまに広く宇治田原の自然を体験してもらい、環境保全意識を高めてもらうこと」を目的にしています。

午前10時に役場を出発した一行は、やすらぎの道を通り、独自の歴史や豊かな自然景観に恵まれた高尾地区を散策しました。

この日はあいにくの小雨が降るなか、会員や一般住民ら20名が参加しました。

参加者からは、「ゆっくり、のんびりとふるさとの宇治田原の歴史に思いを馳せながら、自然環境を学ぶ良い機会になりました」などの声をいただきました。



自然環境体験ハイキングのようす

## 生ごみ減らし隊プロジェクトX

## 『生ごみ懇話会(荒木区)』開催



生ごみ懇話会のようす

循環型社会・地球温暖化防止部会(部会長=森田木一委員)は、平成17年5月21日(土)に中央公民館で「生ごみ懇話会(荒木区)」を開催しました。

これは、昨年度より同部会が掲げている「生ごみを減らすことにより、地球温暖化の防止を積極的にすすめる」といった“生ごみ減らし隊プロジェクトX”の事業の一つとして実施されたものです。

懇話会では、“もったいない”という精神の大切さ、日頃、生ごみを含め家庭ごみに対して疑問に思っていることについての質問、“ケースの底に残っているケチャップやマヨネーズを使い切る方法、茶がらの再利用の方法”等のごみ排出方法の改善アイデア等、活発な議論がかわされました。懇話会には約30名が参加しました。

今後も生ごみ減量に関する意見交換の場として、各地区で生ごみ懇話会を開催いたします。

## シンボルマークが決まりました

会報誌第2号で募集しましたエコパートナーシップうじたわらの“シンボルマーク”が、銘城台在住の藤居知弥さんから応募いただいたシンボルマークに決定いたしました。

“美しい山々の緑に囲まれた自然豊かなまちである宇治田原町、その緑の原点である樹木がデザインされていること、また、太く張り巡らされた木の根はしっかりと大地に根付いて環境保全を推進していく本会の理念と一致すること”との理由で選定されました。

採用されました藤居さんには、環境関連の記念品を呈呈いたします。

多数ご応募いただきまして、ありがとうございました。



## 平成17年度総会の開催

平成17年度総会を開催します。総会終了後には、龍谷大学教授北川秀樹氏をお迎えして「地球温暖化防止と地域の役割について」講演をしていただきます。

日時：平成17年7月23日(土)午後7時30分～午後9時30分

場所：宇治田原町総合文化センター第1研修室

内容：  
・平成17年度 総会  
・基調講演「地球温暖化防止と地域の役割について」  
講師：龍谷大学教授 北川秀樹氏

地球温暖化防止を含めた環境保全について、みんなで一緒に考えてみませんか。

## 環境への取組アイデア募集(広報部会)

『皆さんの環境保全に向けた活動』『家庭での省エネのアイデア』などの環境への取組アイデアを下記の要領で募集します。

応募いただいた活動及びアイデアについては、会報誌等で紹介するとともに、環境活動のバイブルとして冊子にとりまとめることも予定しておりますので、どしどしご応募ください。

応募方法：原稿用紙など(様式は問いません)に 氏名(団体名と代表者名) 住所(代表者の住所) 電話番号 活動内容(200字以内で簡潔にまとめてください) を明記し、活動時の写真(サービス判・1枚)を添えて、郵送もしくはEメールにて下段の応募先に応募してください。

<注意事項>

・営利を目的とした活動や政治・宗教に関する活動は掲載できません。

アイデアとして採用されました方には、素敵なプレゼントを進呈いたします。

## 入会のご案内(一般会員111名 賛助会員 7団体 平成17年6月末現在)

会員の区分

- ・個人会員 = 町民、町内への通勤・通学者、環境に関心のある人
- ・団体会員 = 町内で活動する団体及び法人
- ・賛助会員 = 本会の趣旨に賛同し、活動を支援する個人・団体及び法人

会費

- ・個人会員・団体会員については、無料です。
- ・賛助会員については、活動支援金として年額1口5,000円の会費を募ります。

入会の方法

- ・入会申込書に必要事項を記入し、事務局に申し込んでください。

部会

- ・広報部会・・・会報誌の発行、活動報告書の作成、イベント等の啓発
- ・自然・生活環境部会・・・河川や動植物の学習会、自然観察ファミリーハイキング開催
- ・循環型社会・地球温暖化防止部会・・・生ごみ処理機の普及啓発、環境家計簿の普及等

次の方・団体から賛助会費をいただきました。誠にありがとうございました。

株式会社宇治田原製茶場、宇治田原町商工会、宇治田原町森林組合、協栄開発株式会社  
京都やましる農業協同組合、区長会、須河車体株式会社

平成17年6月末現在(50音順・敬称略)

応募先・お問い合わせ先：エコパートナーシップうじたわら事務局  
(宇治田原町循環型社会推進室内)

〒610-0289

京都府綴喜郡宇治田原町大字荒木小字西出10

TEL 0774-88-6635 FAX 0774-88-3231

Eメール：junkan@town.ujitawara.kyoto.jp



茶文化の源 水・緑・生命の環を育む和みのまち 宇治田原